

〔共同研究：社会学史年表の作成〕

〔資料〕

## ビブリオグラフィー

—英国における世俗化論争—

B. Wilson と D. Martin

北 川 紀 男\*

本稿は、戦後の英国宗教社会学において、セクト研究と並んで、主要な研究テーマとなった世俗化過程の研究に関する文献資料を紹介するものである。ここでは紙面の都合から、戦後の英国における宗教社会学に先鞭をつけ、学界をリードしてきたウイルソン(Bryan Wilson)とマーチン(David A. Martin)にしぼって、関係文献を紹介する。収録されている文献は、著書、論文にかぎらず、新聞、団体機関誌、ラジオ放送などに公表されたものをすべて含んでいる。その理由は、宗教社会学にかぎらず戦後の英国社会学の最大の論点ともいわれるウイルソンとマーチンの世俗化論争が、キリスト教を国教とする国であるが故に、学界だけでなく広く一般の言論界をも巻き込み、両者の論争は多様な機会を通じて行なわれているからである。

ここにウイルソンとマーチンに焦点をあてて、そのビブリオグラフィーを提示することの意味を整理すれば、以下の点を挙げることができる。(1)この二人は、名実ともに戦後の英国宗教社会学をリードしてきた研究者であり、立場こそ異なるが世俗化論の第一人者として何れも優劣をつけがたい存在である。(2)ウイルソンは、1962年以来オックスフォード大学社会学教授の職<sup>1)</sup>にあり、1963年からはオール・ソールズ・カレッジ(All Souls College)のフェローでもある。

\* 社会学部教授

1) オックスフォード大学には、今世紀に入って新しく設置された講座には教授職がなく、リーダー(Reader)と称しているが、実質的には教授職であり、彼自身も対外的には教授という名称を用いている。

マーチンも、1962年以来 L. S. E. (London School of Economics and Political Science) に奉職し、1971年からは社会学主任教授の職にある。宗教社会学にかぎらず英国社会学会の重鎮である。(3)ウイルソンは、世俗化論と共にセクト研究に先鞭をつけた人物で、その業績は国際的にも高く評価され、国際宗教社会学会の会長(1971—1975)を勤めた。マーチンも、世俗化論でウイルソンと並び称される業績をあげ、彼に続いて国際宗教社会学会の会長(1976—1980)を勤めた人物である。つまり、この二人は1970年代の国際宗教社会学の動向に大きな影響を及ぼした研究者であり、世俗化論のみならず宗教社会学全般にわたって重要な貢献をしている。(4)ウイルソンもマーチンも国際的に高く評価されているにもかかわらず、我が国ではごく少数の例外をのぞいて殆ど紹介されていない。とりわけマーチンについて然りである。(5)世俗化論は、デュルケム(E. Durkheim)、ウェーバー(M. Weber)以来、社会学の重要なテーマであり、1970年代には、ウイルソン、マーチンと共にベラー(R. Bellah)、ルックマン(T. Luckmann)、バーガー(P. Berger)等によって、宗教社会学の中心的なテーマとなっていた。しかし、早くにはグラスナー(P. E. Glasner)が、世俗化論を社会的神話の一つに過ぎないと決めつける批判<sup>2)</sup>を展開したのをき

2) Glasner, Peter E., "Idealization" and the social myth of secularisation', in M. Hill (ed.), *A Sociological Yearbook of Religion in Britain*, No. 8, London: S. C. M. Press, 1975, pp. 7-14.;

っかけに、世俗化論への多くの疑問が提出されるに至り、宗教研究の新しいパラダイムが模索されると共に、これまでの世俗化論を批判的に検討し再構築しようという試みが行なわれている。例えば、I. S. A. (International Sociological Association)は、1981年に“Current Sociology”に世俗化論特集を組み、I.S.A.の宗教社会学研究会の代表であるドボラーレ (K. Dobbelaere) が概念の整理と新しい提起をしている。<sup>3)</sup> 我が国ではヤン・スィングドー教授 (Jan Swyngedouw) 等が世俗化論の再考を訴えている。<sup>4)</sup> 1980年代は、1970年代における宗教研究の主流をなしてきた世俗化論パラダイムの強化・再構築と転換・脱構築という二つの方向が模索されているのである。この時期に、世俗化論の一翼を代表するウイルソンとマーチンの業績を検討することは十分に意味のあることと思われる。

ここで、二人の業績を詳細に紹介し、両者の世俗化論争を検討する暇はないが、英国宗教社会学におけるその位置付けだけは明らかにしておかなければならないだろう。

第二次世界大戦以前の英国には、宗教社会学の分野で特筆すべきような業績は見当たらず、デュルケム、ウェーバーの域を超えるものではなかった。この分野で戦後最初に行なわれた重要な論点は、戴冠式 (coronation) の社会的意味に関する論争である。<sup>5)</sup> それは、社会の伝統的価値の再確認としてのデュルケム的解釈とマルクス主義の立場からの批判的解釈の対立であった。<sup>6)</sup> この問題はその後深く追求されること

はなかったが、両者の論争は、多元的社会では、宗教活動の解釈が決して単純なものではないことを強く印象づけ、その後の英国における宗教研究を動機づける役割を果たした。しかし、戦後一貫して追求されているのは、セクト研究と世俗化過程の研究である。

セクトの社会学的研究は、英国が世界に先駆けて取り組んだものであり、この研究分野の開拓にはウイルソンの業績が与って大きいものがある。彼の『セクトと社会』(Wilson 1961d)は、英国のミッドランド地方における三つのセクト、エリム福音教会 (Elim Foursquare Gospel Church)、クリスチャン・サイエンス (Christian Science)、キリスト・アデルフィアン派 (Christadelphians) の教義、歴史、組織、運動の社会的構成に関する実証研究である。彼のセクト研究は様々な方法で受け継れ、多くのセクト研究者を生み、救世軍 (Salvation Army)、クリスチャン・サイエンス、エホバの証人 (Jehovah's Witnesses) 等の多くの実証研究を導いた。<sup>7)</sup> しかし、ウイルソン自身はセクトの類型学の構築に意を注いだ (Wilson 1959 a, 1969 c, 1970 b, 1973 c)。彼は、はじめセクトの伝道の仕方によって四類型を設定していたが、外界と常に緊張関係にある抗議運動としてのセクトという視点に立って、その社会への対応の仕方によって七類型に修正した。加えて、初期には、キリスト教系セクトだけを対象にしていたが、非キリスト教セクトをも対象に取り入れた。斯くして、セクト研究は英国宗教社会学の一大潮流となったのである。このセクト研究が、彼の世俗化研究に密接な係わりを持つものであることはいうまでもない。

しかし、英国社会学における宗教研究の主要な論議は、世俗化の問題に関するものであった。これはデュルケム、ウェーバー以来の社会学の

*The Sociology of Secularization - A critique of a concept*, London: Routledge and Kegan Paul, 1977, pp. viii-137.

3) *Current Sociology*, Vol. 29, No. 2, 1981.

4) ヤン・スィングドー「問われている 世俗化論」, 第57回日本社会学大会, テーマ部会「現代社会と宗教」(於竜谷大学), 1984年10月14日。

5) この論争は、1952年に即位したエリザベス二世の戴冠式 (1953年6月) を取り上げ、その社会的意味を論じたものである。

6) Shils, E. and M. Young, 'The Meaning of the Coronation', *Sociological Review*, New Series Vol. 1, No. 2, 1953, pp. 63-81. Birnbaum, N., 'Monarchs and Sociologists', *Sociological Review*, New Series Vol. 3, No. 1, 1955, pp. 5-23.

7) Wilson 1967b. J. A. Beckford, *The Trumpet of Prophecy: A Sociological Study of Jehovah's Witnesses*, London: Heinemann, 1977. R. Wallis, *The Road to Total Freedom: A Sociological Analysis of Scientology*, London: Heinemann, 1977. Eileen Barker, *The Making of a Moonie*, Oxford: Basil Blackwell, 1984.

トピックスであるが、戦後の英国におけるそれは、世俗化の属性や特徴に関するものである。その先駆的研究となったのは、ウイルソンの『世俗社会の宗教』(Wilson 1966)、マッキンタイヤー『世俗化と道徳の変化』<sup>8)</sup>、マーチン『宗教と世俗』(Martin 1969 a)である。世俗化研究においても先鞭を付けたのはウイルソンであった。彼は、世俗化の第一の定義として宗教の衰退 (the decline of religion) を挙げ、構造機能主義者の見解<sup>9)</sup> に反対し、英国における幼児洗礼、賢信礼などを受ける者の継続的減少、教会の定期的出席率の大幅低下、出版その他のマスコミから宗教記事が減少している事実を指摘して、宗教が変容しつつ常にその機能を維持していくというのは事実ではなく、宗教は現代社会のコミュニケーションにおいて、メディアとしての役割を大幅に失っていると主張する (Wilson 1966)。現代社会の処々にみられるカルト (cult) は世俗化に対応する一時的で移り気なジュスチュア以外の何ものでもないとして退け、世俗化(宗教の衰退)は現代社会の避けがたい動向であるというのである。

一方、マーチンはウイルソンのこのような主張を批判的に検討することを通して、彼の世俗化論を構築するのである。マーチンは、世俗化の過程を宗教の衰退、宗教慣行の世俗化 (the secularization of religious custom)、個人の知的思考の面 (the intellectual dimension of secularization)、態度的側面 (the secularization of attitudes) の四側面に区分し、それが必ずしも宗教の衰退とは言い切れないことを証明しようとするのである (Martin 1969 a)。そして、

世俗化論者の多くがあまりにも世俗的人間観 (over-secularized concept of man) を抱いていると批判する。彼の初期の世俗化論批判の立場からすれば意外なのであるが、『世俗化の総合理論』(Martin 1979 a) を著わし、世俗化過程のパターン類型を設け、世俗化が現代の一般的な動向であることは認めながらも、多様な文化的コンテキストと関係ずけて解釈されなければならないとして、世俗化がかならずしも宗教の衰退を意味するものではないと主張するのである。

かくしてウイルソンとマーチンの論争は、ベラー、ルックマン、バーガーなどの米国宗教社会学研究とははっきりと一線を画しながら、1960年代後半から今日まで、英国の宗教社会学を巻き込んで展開されて来ているのである。

以下は、二人の文献資料を年代順に列挙したものである。その際、外国で翻訳出版されたものは、出版社名と出版年を示しておいた。また放送されたものは、*The Listener*, *B. B. C. Publications* など放送関係誌に再録されたものを示した。

筆者は、1981年から1982年にかけての英国滞在中に、ウイルソン教授とマーチン教授から多大の教えを受けた。加えて、今回の資料収集に際しては、多くの資料の提供を受け、数度にわたる質問に快く回答してくれた。此に記して感謝したい。

なお、本稿は、共同研究プロジェクト「社会学史年表の作成」の一副産物である。

8) MacIntyre, Alasdair, *Secularization and Moral Change*, 1967, Oxford University Press.

9) 彼のいう構造機能主義者とは、R. N. Bellah, C. Geertz, C. Glock, W. Stark であり、またその垂流として出発しながら現象学的解釈に傾いていった P. Berger や T. Luckmann である。

## WORKS BY BRYAN WILSON

- 1958 'Apparition et persistence des Sectes', *Archives de Sociologie des Religions*, Tome 5, pp. 140-150.
- 1959 a 'An Analysis of Sect Development', *American Sociological Review*, Vol. 24, No.1, pp. 3-15. Reprinted as ch. 1 of 1967b and in S. M. Lipset and N. J. Smelser (eds.), *Sociology: The Progress of a Decade*, Prentice-Hall, 1961; L. Schneider (ed.), *Religion, Culture and Society*, Jhon Wiley, 1964; P. Rose (ed.), *The Study of Society*, Random House, 1967; W. M. Newmab (ed.), *The Social Meaning of Religion*, Rand McNally, 1974. Translated in F. Furstenberg (ed.), *Religionssoziologie*, Neuwied: Lutherland, 1964.
- 1959 b 'The Origins of Christian Science: A Survey', *The Hibbert Journal*, No. 225, pp. 61-70.
- 1959 c 'The Pentecostal Minister: Role conflicts and Contradictions of Status', *American Journal of Sociology*, Vol. 6, No. 45, pp. 494-504. Reprinted as Ch. 4 of 1976b and in B. McLaughline (ed.), *Studies in Social Sciences*, Free Press, 1969.
- 1961 a (With Malcolm Bradbury) 'The Away Game: Why Young Writers Immigrate', *Twentieth Century*, Vol. 169, No. 1007, pp.69-80.
- 1961 b 'God in Retirement', *Twentieth Century*, Vol. 170, No. 1011, pp. 19-27.
- 1961 c 'Mass Media and the Public Attitude to Crime', *Criminal Law Review*, 345/432, pp. 376-384. Reprinted in Wilson, 1970c.
- 1961 d *Sects and Society: A Sociological Study of Three Religious Groups in Britain*. University of California Press; London: Heinemann. Reprinted, Greenwood Press, 1978.
- 1962 a 'Analytical Studies in Social Institutions', in A. T. Welford et al. (eds.), *Society, Problems and Methods of Study*, London: Routledge and Kegan Paul, pp. 99-110.
- 1962 b (With Malcolm Bradbury) 'Artists without Art', *Texas Quarterly*, Vol. 5, No. 4, pp. 11-21.
- 1962 c 'The Teacher's Role', *British Journal of Sociology*, Vol. 13, No, 1, pp. 15-32. Reprinted in Wilson, 1970c; *Education*, Vol. 14, No. 2, New Zealand, 1965; P. I. Rose (ed.), *The Study of Society*, Random House, 1967; Donald E. Edgar (ed.), *The Competent Teacher*, Sydney: Angus and Robertson, 1974; H. R. Stub (ed.), *The Sociology of Education: A Sourcebook*, Dorsey Press, 1975. Translated in K. Betzen and K. E. Nipkow (eds.), *Der Lehrer in Schule und Gesellschaft*, Munich: Piper, 1971.
- 1963 a 'Millennialism in Comparative Perspective', *Comparative Studies in Society and History*, Vol. 6, No. 1, pp. 93-116.
- 1963 b 'On the Fringe of Christendom', *Rationalist Annual*, pp. 40-50.
- 1963 c 'Them Against Us', *Twentieth Century*, Vol. 27, No. 1017, pp. 6-17.
- 1963 d 'Typologie des sectes dans une perspective dynamique et comparative', *Archives de Sociologie des Religions*, Tome 16, pp. 49-63. Reprinted in translation and with significant revisions as 1969b.
- 1964 'Sectarians and Schooling', *The School Review*. Vol. 72, No. 1, pp. 1-21.
- 1965 a 'The Needs of Students', in Marjorie Reeves (ed.), *Eighteen Plus*, pp. 44-88, London:

- Faber. Reprinted in Wilson, 1970c.
- 1965 b 'The Paul Peport Examined', *Theology*, Vol. 68, No. 536, pp. 89-103.
- 1965 c 'Religion and Career' (review article), in *The School Review*, Vol. 73, No. 2, pp. 156-172.
- 1965 d *The Social Context of the Youth Problem*. The Charles Russell Memorial Lecture for 1965.
- 1965 e 'A Sociologist's Footnote', in Margaret Phillips, *Small Social Groups in England*, London: Methuen, pp. 292-306.
- 1966 *Religion in Secular Society*, London: Wattts. Reprinted, Penguin, 1969. Translation, Barcelona: Labor Editorial, 1969.
- 1967 a 'The Migrating Sects', *British Journal of Sociology*, Vol. 18, No. 3, pp. 303-317. Review of Karl J. R. Arndt, *George Rapp's Harmony Society: 1758-1847*; Victor Peters, *All Things Common: The Hutterite Way of Life*; Robert Mullen, *The Mormons*.
- 1967 b (Ed.) *Patterns of Sectarianism: Organisation and Ideology in Social and Religious Movements*. London: Heineman. Includes the following original essays by Bryan Wilson: 'introduction', pp. 1-21; 'An Analysis of Sect Development', pp. 22-48; 'The Exclusive Brethren: A Case Study in the Evolution of a Sectarian Ideology', pp. 287-337; with Gordon Wills, 'The Churches of God: Pattern and Practice', pp. 244-286.
- 1967 c 'Establishment, Sectarianism and Partisanship', *Sociological Review*, Vol. 15, No. 2, 213-220. Review of Werner Stark, *The Sociology of Religion: A Study of Christendom*.
- 1968 a 'Foreword', in H. A. Rhee, *Office Automation in Social Perspective*, Oxford: Blackwell, pp. 7-14.
- 1968 b 'Religion and the Churches in Comtemporary America', in William McLoughlin and Robert N. Bellah (eds.), *Religion in America*, Boston: Houghton Mifflin, pp. 73-110.
- 1968 c 'Religious Organization', in *International Encyclopedia of the Social Sciences*, Macmillan and Free press, pp. 423-437.
- 1968 d 'Youth Culture, the Universities and Student Unrest', *British Universities Annual for 1968*, London: AUT, pp. 90-104. Reprinted in Wilson, 1970c.
- 1969 a 'The Challenge to the Universities in Britain', in *La revolte de la jeunesse*, Madrid: Central Européen de Documentation et d' Information. pp. 79-97.
- 1969 b 'A Typology of Sects', in Ronald Robertson (ed.), *The Sociology of Religion*, London: Penguin Books, pp. 361-383. Translation and revision of Wilson, 1963 d.
- 1969 c 'A Typology of Sects', in *Types, dimensions et mesure de religiosité*, pp. 31-56. Actes of the 10th International Conference for the Sociology of Religion, Rome.
- 1970 a (Ed.), *Rationality*, Oxford: Blackwell. Includes by Bryan Wilson, 'A Sociologist's Introduction', pp. 7-18.
- 1970 b *Religious Sects: A Sociological Study*. McGraw-Hill; London: Weienfeld and Nicholson, 1971. Translation: Munich:Kindler, 1971; Paris: Hatchette, 1971; Madrid: Guadar-rama, 1971; Stockholm: Aldus/Bonniers, 1971; 池田昭訳「セクターその宗教社会学」, 平凡社, 1972.
- 1970 c *The Youth Culture and the Universities*. London: Faber.

- 1971 a (With Malcolm Bradbury) 'Introduction', in Robert Escarpit, *Sociology of Literature*, London:Cass, pp. 5-21.
- 1971 b 'Response to Glock', in R. Caporale and A. Crumelli (eds.), *The Culture of Unbelief: Proceedings of the 1st International Symposium, Rome, 1969*, University of California Press, pp. 121-131.
- 1971 c 'Unbelief as an Object of Research', in R. Caporale and A. Grumelli (eds.), *The Culture of Unbelief: Proceedings of the 1st International Symposium, Rome, 1969*, University of California Press, pp. 247-269.
- 1971 d 'Sociological Methods in the Study of History', *Transactions of the Royal Historical Society*, Vol. 21, pp. 101-118.
- 1972 'Pentecostalism in Perspective', Review of Walter J. Hollenweger, *Enthusiatisches Christentum*, in *Religion: Journal of Religion and Religions*, pp. 154-158.
- 1973 a 'American Religion: Its Impact on Britain', in A. J. N. den Hollander (ed.), *Contagious Conflict: The Impact of American Dissent on Europe*, Leiden: Brill, pp. 233-263.
- 1973 b 'Jehovah's Witnesses in Kenya', *Journal of Religion in Africa*, Vol. 5, No. 2, pp. 129-149.
- 1973 c *Magic and the Millennium: A Sociological Study of Religious Movements of Protest Among Tribal and Third-World Peoples*. London: Heinemann; Harper & Row. Reprinted, Paladin, 1975.
- 1974 a 'Christian Science', in *Encyclopaedia Britannica* (Macropaedia), pp. 562-564.
- 1974 b 'Hippy, Yippy, Hooray', Review of Harvey Cox, *The Seduction of The Spirit*. in *New Society*, May 2, pp. 264-265.
- 1974 c 'The Anglican Church and its Decline', *New Society*, December 2.
- 1974 d 'Mormonism', in *Encyclopaedia Britannica* (Macropaedia), pp. 442-444.
- 1975 a 'American Religious Sects in Europe', in C. W. B. Bigsby (ed.), *Superculture: American Popular Culture and Europe*, Bowling Green State University Press; London: Elek, pp. 107-122.
- 1975 b 'The Debate over Secularization: Religion, Society and Faith', *Encounter* Vol. 45, No. 4, pp. 77-84.
- 1975 c (Ed.), *Education, Equality and Society*. London: Allen and Unwin. Includes by Bryan Wilson, 'Introduction', pp. 9-38.
- 1975 d 'Foreword', in Marie-Louise Martin, *Kimbangu: An African Prophet and his Church*, Oxford: Blackwell, pp. 8-24.
- 1975 e *The Noble Savages: The Primitive Origins of Charisma and its Contemporary Survival*. University of California Press. Translation, *Charismatisch Leiderschap*, Utrecht: Het Spectrum, 1978. 山口素光訳『カリスマの社会学』世界思想社, 1982.
- 1975 f 'Sect or Denomination: Can Adventism Maintain its Identity?', *Spectrum: A Quarterly Journal of the Association of Adventist Forums*, Vol. 7, No. 1, pp. 34-43.
- 1976 a 'Aspects of Secularization in the West', *Japanese Journal of Religious Studies*, Vol. 3, No. 4, pp. 259-276. Nanzan Institute for Religion and Culture (南山宗教文化研究所, 南山大学)
- 1976 b *Contemporary Transformations of Religion*. Oxford: Clarendon Press. 井門富二男・

- 中野毅訳『現代宗教の変容』, ヨルダン社, 1979.
- 1976 c 'Modernization of Religion: The Case of Western Christianity', 倭成学術研究所・中央学術研究所編『真理と創造』(倭成出版社)第9巻, 81-96頁
- 1976 d 'New Religious Movements: Millennial Visions in Worldwide Context', 長谷川仲子訳「千年王国のヴィジョン」, 『思想』(岩波書店), 第621号, 312-327頁
- 1976 e 'Oxford's Summer: Another Lost Cause', *The Daily Telegraph*, August 30.
- 1976 f 'Role of Jehovah's Witnesses', *The Times*, August 6,13.
- 1976 g 'Theories of Sects', 「セクトの理論」, 『国際宗教ニュース』(国際宗教研究所)第15巻1-2号, 9-28頁.
- 1977 a 'The Anglican Church', *Society Today*, December 16, pp. 13-14.
- 1977 b 'Aspects of Kinship and the Rise of Jehovah's Witnesses in Japan', *Social Compass*, Vol. 24, No. 1, pp. 97-120. 鶴岡賀雄・林淳訳「日本における「エホバの証人」の発展と親族関係の諸問題」, 『国際宗教ニュース』(国際宗教研究所), 第15巻3-4号, 41-62頁, 1978年
- 1977 c 'De Jeugdcultuur' (in Dutch), *Kulturleven*, Vol. 44, No. 6, pp. 491-504.
- 1977 d 'How Religious Are We?', *New Society*, October 27, pp. 176-178.
- 1977 e 'Marxists' Out to Control Universities', *The Oxford Times*, November 25, p. 14.
- 1977 f 'A Tribute to Elias', *New Society*, July 7, pp. 15-16.
- 1977 g 'Zit Godsdiens op de dood?' (in Dutch), An interview given to F. Damen, *Kulturleven*, Vol. 44, No. 4, pp. 336-348.
- 1978 a 'Becoming a Sectarian: Motivation and Commitment', in Derek Baker (ed.), *Religious Motivation: Biographical and Sociological Problems for the Church Historian*, pp. 481-506. Studies in Church History, No. 15, Oxford: Blackwell.
- 1978 b 'Manners Make the Man', Review of Norbert Elias, *The Civilizing Process: What is Sociology?*, in *New Society*, July 8, pp. 28-29.
- 1978 c 'The Return of the Sacred', Paper presented at the 1978 Annual Meeting of the Society for the Scientific Study of Religion. (Mimeographed).
- 1978 d 'When Prophecy Fails', *New Society*, January 26, pp. 183-184.
- 1978 e 'The Church, the Denominations and the Idea of the Modern State', in *The Church in a Changing Society*, Upsala: Almqvist and Wiksells, pp. 177-179.
- 1978 f 'The Church and Social Change', in *The Church in a Changing Society*, Upsala: Almqvist and Wiksells, pp. 181-186.
- 1978 g 'The New Religions: Some Preliminary Considerations', *Actes de Conference Internationale de Sociologie Religieuse*, pp. 112-130. Tokyo: International Institute for the Study of Religion. Reprinted in Eileen Barker (ed.), *New Religious Movements: A Perspective for Understanding Society*, New York: Edwin Mellen Press, 1982.
- 1979 a 'Foreword', in Suzanne Campbell-Jones, *In Habit: An Anthropological Study of Working Nuns*, London and Boston: Faber and Faber, pp. 11-16.
- 1979 b 'The Functions of Religion in Contemporary Society', 中野毅訳「現代社会における宗教の機能」, 『東洋学術研究』(東洋哲学研究所), 第18巻3号, 14-36頁
- 1979 c 'The Return of the Sacred', *Journal for the Scientific Study of Religion* Vol. 18, No. 3, pp. 268-280.
- 1979 d 'On Millennial Sects', *Encounter*, Vol. 53, No. 6, pp. 50-58.

- 1980 (With Karel Dobbelaere), 'Jehovah's Witnesses in a Catholic Country: A Survey of Nine Belgian Congregations', *Archives de Sciences Sociales des Religions*, Tome 50, No. 1, pp. 89-110.
- 1981 a (Ed.), *The Social Impact of New Religious Movements*, New York : Rose of Sharon Press. Includes 'Introduction', pp. 5-16, and 'Time, Generations, and Sectarianism', pp. 217-234.
- 1981 b *The Brethren: A Recent Sociological Study*, Melbourne (Australia): Alanby Press. Reprinted as *The Brethren: A Current Sociological Appraisal*, Sheffield (U. K.): Duplicopy, 1981.
- 1981 c 'Morality in the Modern Social System', *Actes de 10th Conference Internationale de Sociologie des Religions*, Lausanne, pp. 340-360.
- 1981 d 'The Academic Position of the Sociology of religion in Modern Science', 中野毅訳「近代科学における宗教社会学の学問的位置」, 『東洋学術研究』(東洋哲学研究所), 第20巻2号, 2-32頁
- 1982 a 'A Riposte', published with a reprinting in English of 1981d and four Japanese critical rejoinders, *Japanese Journal of Religious Studies*, Vol. 9, No. 1, pp. 89-98. Nanzan Institute for Religion and Culture (南山宗教文化研究所)。中野毅訳「コメンテーターへの返答」(コメンテーター: 森岡清美, 赤池憲昭, 荒木美智雄, 島園進), 『東洋学術研究』(東洋哲学研究所) 第21巻1号, 74-84頁
- 1982 b *Religion in Sociological Perspective*, Oxford University Press. Translated in Italian, Bologna: Molino, 1983.
- 1982 c 'Preface', in D. and H. Parker, *The Secret Sect*, Sydney (Australia): Macarthur Press, pp. 7-13.
- 1983 a 'A Sect at Law: The Case of the Exclusive Brethren', *Encounter*, Vol. 60, No.1, pp. 81-87.
- 1983 b 'Sect', in *Dictionary of Christian Theology*, London: S. C. M. Press.
- 1983 c 'Sesularism', in *Dictionary of Christian Theology*, London: S. C. M. Press.
- 1983 d 'Secularization', in *Dictionary of Christian Theology*, London: S. C. M. Press.

#### WORKS BY DAVID A. MARTIN

- 1962 'The Denomination', *British Journal of Sociology*, Vol. 13, No. 1, pp. 1-14.
- 1964 'El Pacifismo y la Intelligentsia durante la "Guerra de Treinta anos" (1914-1945)', *Revista Mexicana de Sociologia*, May-August, pp. 457-482.
- 1965 a *Pacifism: An Historical and Sociological Study*, London: Routledge; New York: Schocken Books.
- 1965 b 'Towards Eliminating the Concept of Secularization', in J. Gould (ed.), *Penguin Survey of the Social Sciences*, Harmondsworth: Penguin.
- 1966 a 'Kinds of Myth', *Clare Market Review*, Lent.
- 1966 b 'Utopian Elements in the Concept of Secularization', in J. Matthes (ed.), *Internationales Jahrbuch fur Religionssoziologie*, No. 2.



- 1966 c 'The Unknown Gods of the English', *Advancement of Science*, June. (with introduction to other papers given at the British Association Meeting, 1965).
- 1966 d 'The Unknown Gods of the English', *The Listener*, Vol. 75, No. 1937, pp. 677-679.
- 1966 e 'The Sociology of Religion: a case of status deprivation?', *British Journal of Sociology*, Vol. 17, No. 4, pp. 353-359.
- 1967 a *A Sociology of English Religion*, London: S. C. M. Press; New York: Basic Books.
- 1967 b 'The Methodist Local Preacher', *Clergy in Church and Society*, Actes de la neuvieme conference de sociologie religieuse, Rome, 1967.
- 1967 c 'Interpreting the Figures', in M. Perry (ed.), *Crisis for Confirmation*, London: S. C. M. Press.
- 1967 d 'The Ideology of Pacifism', *Cambridge Opinion*, No. 49.
- 1967 e 'Religia w stylu angielskim', *Fakti y Mysli*, December.
- 1967 f 'Religion in Bulgaria (1)', *Theology*, Vol. 70, No. 569, pp. 496-503.
- 1967 g 'Religion in Bulgaria (2)', *Theology*, Vol. 70, No. 570, pp. 539-542.
- 1968 a (Ed.) *A Sociological Yearbook of Religion in Britain*, No. 1, London: S. C. M. Press.
- 1968 b 'The Secularization Process in England and Wales', in G. Walters (ed.), *Religion in Technological Society*, Bath: Bath University Press.
- 1968 c 'Trouble in the University', *The Listener*, Vol. 79, No. 2032, pp. 291-294. Also reprinted in D. May (ed.), *The Good Talk*, Gollancz.
- 1968 d 'Sociologist fallen among Secular Theologians', *The Listener*, Vol. 79, No. 2039, pp. 528-530.
- 1968 e 'City Men 11', *Frontier*, Spring.
- 1968 f 'The Sociology of Knowledge and the Nature of Social Knowledge', (Review Article), *British Journal of Sociology*, Vol. 19, No. 3, pp. 334-342. Reprinted in G. Remmling (ed.), *The Sociology of Knowledge*, London: Routledge, 1973.
- 1969 a *The Religious and the Secular*, London: Routledge; New York: Schocken Books.
- 1969 b (Ed.) *A Sociological Yearbook of Religion in Britain*, No. 2, (with introduction), London: S. C. M. Press.
- 1969 c (Ed.) *Anarchy and Culture: the Crisis in the Contemporary University*, London: Routledge. (translated into Danish and published by Nyt Nordisk Forlag, 1970, with introduction entitled 'The Dissolution of the Monasteries' and article 'The Day Nursery of Revolution').
- 1969 d 'The Sociology of Religion', in A. Richardson (ed.), *A Dictionary of Christian Theology*, London: S. C. M. Press.
- 1969 e 'The Day Nursery of Revolution', *Spectator*, January 31.
- 1969 f 'Journey into Inner Space', *Encounter*, Vol. 33, No. 2, pp. 70-74.
- 1969 g 'Notes Towards a General Theory of Secularization', *European Journal of Sociology*, December, pp. 129-201.
- 1970 a (Ed. with M. Hill) *A Sociological Yearbook of Religion in Britain*, No. 3, London: S. C. M. Press.
- 1970 b (Ed.) *Fifty Key Words in Sociology* (with some ten personal contributions), Lutterworth Press. (Revised edition published in Dutch as *Sleutelwoorden in de Sociologie*,

- Rotterdam : Universitaire Pers, 1974).
- 1970 c 'The Sociology of Religion in the Sixties', *Church Quarterly*, January.
- 1970 d 'Red, White, Black : on a Spectrum of Ideological Controversy', *Encounter*, Vol. 34, No. 2, pp. 77-84.
- 1970 e 'Rome and the Sociologists', in D. Martin (ed.), 1970 a .
- 1970 f 'Person and Thungs : R. D. Laing's experience of politics', in M. Cranston (ed.) *The New Left*, pp. 179-208, The Bodley Head. Reprinted in *Dissent* as 'Psychiatry and Apocalypse'.
- 1970 g 'New Gods for Old', *History of the Twentieth Century*, No. 117.
- 1970 h 'Young Men Seeing Visions', *The Christian Century*, September 9.
- 1970 i 'The Wronged Box', *The Times Literary Supplement*, November 6.
- 1970 j 'The End of the Protestant Ethics?', *The Director*, December.
- 1971 a 'The Social Structure of Modern Britain' (with C. Crouch), in M.S. Archer and S. Giner (eds.), *Contemporary Europe*, London : Weidenfeld and Nicholson, pp. 274-318.
- 1971 b 'The Secularization Issue', *Encounter*, Vol. 37, No. 4.
- 1971 c 'The Status of the Human Person in the Behavioural Sciences', in R. Preston (ed.), *Technology and Social Justice*, World Council of Church, pp. 237-265. Reprinted in part in *Christian*, October 1973.
- 1972 a 'Church, Denomination and Modern Society, in M. Hill (ed.), *A Sociological Year-book of Religion in Britain*, No. 5, London : S. C. M. Press.
- 1972 b 'Me Doctor, You Patient', *Encounter*, Vol. 38, No. 2, pp. 71-76.
- 1972 c 'England', in H. Mol (ed.), *Western Religion : A Comparative Survey*, The Hague : Mouton Press.
- 1972 d 'A Structure for Decency', *The Times Literary Supplement*, February 26.
- 1972 e 'The Meaning of the Secular', excerpted in P. Worsley (ed.), *Problems of Modern Society*, Harmondsworth.
- 1973 a 'The Secularization Question', *Theology*, Vol. 76, No. 632, pp. 81-87.
- 1973 b 'Ethical Commentary and Political Decision', *Theology*, Vol. 76, No. 640, pp. 525-531
- 1973 c 'Shils' Ideal of Civility', *The Times Literary Supplement*, January 25
- 1973 d 'Durkheim', *Spectator*, February 19.
- 1973 e 'The Grain of Things', *New Statesman*, May 25.
- 1973 f 'The Sociology of Religion : Creed and Context', *New Statesman*, June 29.
- 1973 g Two Critiques of Spontaneity, *Athlone Press*, July.
- 1973 h 'The Naked Person - A Critique of Spontaneity', *Encounter*, Vol. 40, No. 6, pp. 12-20.
- 1973 i 'The Language of Worship' (with G. Rupp), *Christian*, Vol. 1, No. 2.
- 1973 j 'Institutionalism and Community', *Actes de la 12ieme Conference internationale de Sociologie religieuse*, Lille : C. I. S. R..
- 1973 k 'Negare validita al concetto di secolarizzazione', in S. Aquaviva and G. Guizzardi (eds.), *La Secolarizzazione*, Mulino.
- 1973 l 'Roads to Redemption', *New Statesman*, September 20.
- 1973 m 'Paradoxical Deaths of Humanism and Religion', *The Times Higher Education Supplement*, November 23.

- 1973 n 'Familia y sociedad post-industrial' (interview with A. Orensanz), in *Hechos y Dichos*, No. 444.
- 1973 o 'Community and Institutionalism', *The Month*, December.
- 1974 a *Tracts Against the Times*, London: Lutterworth Press.
- 1974 b 'Patterns of Secularization', *The Times*, February 16, March 2 and 16.
- 1974 c 'The Delicate Streak', *The Listener*, Vol. 91, No. 2352, pp. 526-529.
- 1974 d 'Ethical Comment and Political Decision', in G. Dunstan (ed.), *Duty and Discernment*, London: S. C. M. Press.
- 1974 e Preface to John Whitworth, *God's Blueprints: A sociological study of three Utopian sects*, London: Routledge and Kegan Paul.
- 1974 f 'Christianity, Civic Religion and Three Counter-Cultures', *The Human Context*, Vol. 6, No. 3.
- 1974 g 'The Meaning of the Incarnation', *Methodist Recorder*, December 6.
- 1975 a 'The Church in Modern Society: The Familiar, Unknown Quantity', *Crucible*, January-March.
- 1975 b 'Some Problems of Media', *Journal of Christian Communication*, June.
- 1975 c 'Authority, Freedom and Mission', *Worship and Preaching*, June.
- 1975 d 'Polymorphous Pieties', *The Times Literary Supplement*, June 13.
- 1975 e 'Mutations: Religio-Political Crisis and the Collapse of Puritanism and Humanism', in P. Seabury (ed.), *Universities in the Western World*, New York: Free Press.
- 1975 f 'Doctors of the Body or Leeches of the Soul?', *The Times Higher Education Supplement*, August 1.
- 1975 g 'Remembering Karl Mannheim', *Encounter*, Vol. 45, No. 4, pp. 84-86.
- 1975 h 'All Cultures and Subcultures are Equal', *Contemporary Review*, September.
- 1975 i 'When the Archbishopal Trumpet Sounds', *The times*, November 15.
- 1976 a 'The Prospects for Non-scientific Belief and Ideology in the Year 2000', in G. Suffert (ed.), *Les Terreurs de l'an deux milles*, Paris: Hachette, also in a German translation.
- 1976 b 'Hard Travelling', *The Times Literary Supplement*, January.
- 1976 c 'Words Master Him', *The Times Higher Education Supplement*, February 13.
- 1976 d 'Of Social Bondage', *The Times Higher Education Supplement*, March 19.
- 1976 e 'Singer who touches a Human Universal' (Interview with Dame Janet Barker), *The Times Higher Education Supplement*, April 9.
- 1976 f 'Dr. Adorno's Bag of Tricks', *Encounter*, Vol. 47, No. 5.
- 1976 g 'Benjamin Britten: a composer of the mind', *The Times Higher Education Supplement*, December 24.
- 1977 a 'Secularization in Spain, Portugal and Greece', in M. Vassallo (ed.), *Contribution to Mediterranean Studies*, University of Malta Press.
- 1977 b 'Traditional Religion and the Traditional Transitions to the Tradition of the New', in E. Spicehandler (ed.), *Proceedings of the Centenary Conference of the Hebrew Union College*, Jerusalem.
- 1977 c 'Religious Education in the Semi-Secular City', *Learning for Living*, October.
- 1977 d Contributions with P. Seabury and others: 'Report on the Contemporary State of Ger-

- man Universities' for the International Council for the Future of the University.
- 1977 e Contributions to 'More Words', in *B. B. C. Publications*.
- 1978 a 'Religion in Europe', in M. S. Archer and S. Giner, *Contemporary Europe*, London: Routledge and Kegan Paul.
- 1978 b Concluding section to the Readers Digest Encyclopedia volume on Human Society published by Readers Digest.
- 1978 c 'An Unsavoury Diet of Danish Blue', *The Times Higher Education Supplement*, June 30.
- 1978 d 'The sound of England' (A Discussion of English Music), *PN Review*, No. 8.
- 1978 e 'John Bull's Other Islanders' (A Discussion of Migration), *The Times Literary Supplement*, May 26.
- 1978 f 'The Education of the English Elite', 清水畏三訳「イギリスにおけるエリート教育」, 『I. D. E.』(民主教育協会), No. 188, pp. 63-69.
- 1978 g *The Dilemmas of Contemporary Religion*, Oxford: Blackwell. 安部美哉訳『現代宗教のジレンマ——世俗化の社会理論——』, ヨルダン社, 1981年
- 1979 a *A General Theory of Secularization*, Oxford: Blackwell.
- 1979 b 'The Revs and the Revolutions: Church Trends and Theological Fashions', *Encounter*, Vol. 70, No. 1, pp. 10-19.
- 1979 c 'Profane Habit and Sacred Usage', *Theology*, Vol. 82, No. 686, pp. 83-95.
- 1979 d 'The Secularization Pattern in the West', *Journal of the Oriental Institute of Philosophy*, Vol. 18, No. 3, Tokyo. 安部美哉, 柴田史子訳「西欧における世俗化」, 『東洋学術研究』(東洋哲学研究所), 第18巻3号, 37-44頁
- 1979 e 'The Cultural Politics of Established Churches', *The Japanese Journal of Religious Studies*, Vol. 6, No. 2, pp. 287-301.
- 1979 f 'Social Reality and Transcendent Sign', *Epworth Review*, May.
- 1979 g 'What have they done to the Prayer Book', *English Church Music*, R. S. C. M..
- 1979 h 'Crisis for Cranmer and King James' (with editorial), *PN Review*, No. 13.
- 1979 i 'Music and Health with a Key to Harmony', in D. Moberg (ed.), *Spiritual Well-Being*, Washington: University Press of America.
- 1979 j 'Tendencias generales y filtros historicos', *Estudios de Sociologia de la Religion*, Cuadernos aragonesas de sociologia.
- 1979 k 'Shades of 1968' (Radio 3 Talk), *The Listener*, Vol. 102, No. 2623, pp. 170-173.
- 1979 l 'General Tendencies and Historical Filters' (Condensation of 4 talks on Radio 3), *The Annual Review of the Social Sciences of Religion*, Vol. 3.
- 1979m An article on the Book of Common Prayer in *The Church Times*, July.
- 1979 n An article on the Book of Common Prayer in *The Daily Telegraph*.
- 1979 o An article on the Book of Common Prayer in *The Times*.
- 1980 a *The Breaking of the Image: A Sociology of Christian Theory and Practice*, Oxford: Blackwell.
- 1980 b (Eds. with J. Orme-Mills. and W.S.F. Pickering) *Sociology and Theology: Alliance and Conflict*, Brighton: Harvester Press.
- 1980 c 'Linguists who collude with illiteracy', *The Times Higher Education Supplement*,

February 22.

- 1980 d 'From Periphery back to Center', *American Journal of Sociology*, Vol. 86, No. 1, pp. 187-191.
- 1980 e 'The Sociological Mode and the Theological Vocabulary', in D. Martin (eds.), 1980 b.
- 1980 f The Final Advent of the A. S. B., in *Faith and Worship*, November.
- 1980 g 'A Plea for our Common Prayer', in B. Morris (ed.), *Ritual Murder*, Carcanet Press.
- 1980 h Two articles on the Book of Common Prayer in *The Daily Telegraph*.
- 1980 i An article on the Book of Common Prayer in *The Times*.
- 1981 a (Eds. with Peter Mullen) *No Alternative*, Oxford: Blackwell.
- 1981 b 'Talking about the Peterhouse Blues' (Discussion of M. Cowling's *Religion and Public Doctrine in England*), *The Times Higher Education Supplement*, January 30.
- 1981 c 'The Idea of the National Church', *Veritas*, No. 13.
- 1981 d 'Unpopular Education', *The Times Higher Education Supplement*, November 6.
- 1981 e 'Alternative Visions', Newsletter of the Bloxham Project on R.E. in Independent School (Summer, 1981).
- 1981 f A Review Essay of the 33 Papers on 'Youth, Religion and Violence' of the Rome Conference of the Euro-Arab Research Group, April.
- 1981 g 'Back to the Beginning' (Fundamentalism in America), *The Times Literary Supplement*, December 18.
- 1981 h 'Personal Identity and a Changing Church', in D. Martin and P. Mullen (eds.), 1981 a.
- 1981 i 'Disorientations to Mainstream Religion', in B. Wilson(ed.), *The Social Impact of New Religious Movements*, New York: Rose of Sharon Press.
- 1981 j 'Constraints from Society at Large', Conference Working Paper, The Bloxham Project (Spring, 1981).
- 1981 k 'Revived Dogma and New Cult', *Daedalus*, Winter, 1981/2.
- 1981 l An article on the Book of Common Prayer in *The Daily Telegraph*.
- 1981m *The Struggle for Zimbabwe*, London: Faber & Faber.
- 1982 a *The Idea and Reality of the National Church*, Oxford University Press.
- 1982 b 'Worship', *Theology*, Vol. 85, No. 704, pp. 83-91.
- 1982 c *The Crying Heart Tattoo*, New York: Holt Rinehalt & Winston.
- 1984 (Eds. with Peter Mullen) *Unholy Warfare*, Oxford: Basil Blackwell.